

## pixDiff

## pixDiff version 1.25

2枚の画像を、画面で比較するためのソフトウェアです画像ファイルにレタッチやフィルタリング、圧縮などの処理を施した後で、その効果を視覚的に比べるために開発されたツールです。

## ■ ファイルの選択と表示



2枚の画像ファイルを選択します。画像が読み込まれ、画面に表示されます。下の形で切り替えながら、画像の差異を目視で確認できます。表示モードは、メニューからの選択、マウス左クリック、またF5キーで切り替えることができます。



カラー・モード（フル・カラー→赤チャンネルのみ→緑→青）は、メニューからの選択、また、F4キーによって切り替えられます。



1 枚目の画像を表示。マウスクリックで切り替え



2 枚目の画像を表示



ワイパーを上下に移動しながら比較



ワイパーを左右に移動しながら比較



スコープの中に1枚目を表示し、移動させながら比較



スコープの中に2枚目を表示し、移動させながら比較



画面を上下に分割し、両方を表示



画面を左右に分割す、両方を表示



それぞれのモードで赤チャンネルのみを表示



緑チャンネルのみを表示



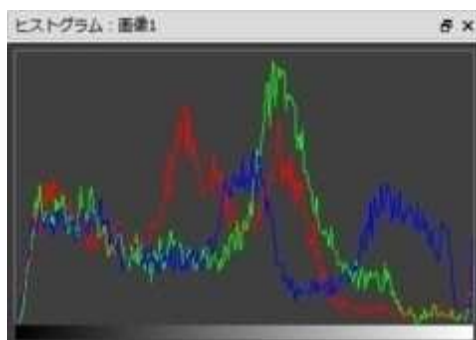
青チャンネルのみを表示

## ■ 画面の使い方



画面右の一番上には、インデックス画像が表示され、どの部分を拡大しているかが示されています。

各コントロールは、メイン・ウィンドーから放して、見やすい位置に移動したり、必要ないものは閉じておくこともできます。メイン・メニューの『コントロール』から表示のオン、オフを切り替え可能。



画面右の中央には、二つの画像の特性を現すヒストグラムと相関図が表示されます。このグラフ上で、マウス左クリックと、表示される項目が下記のように替わります:

- \*1枚目→2枚目の画像のヒストグラム
- \*赤→緑→青チャンネルのヒストグラムの比較
- \*赤→緑→青チャンネルの相関図

グラフ上で右クリックしてメニューから選択することも可能。

画像の特性値		
属性	画像1	画像2
ファイル	-	-
ファイル名	PA190030.JPG	20030101_160203_8.JPG
フォーマット	JPG	JPG
サイズ	459319	453291
作成日時	2013/02/07 9:21	2014/05/12 10:25
更新日時	2001/10	画像リスト
閲覧日時	2014/06	画像の特性値
画像	-	画像統計値
形式	Joint Ph Experts format	OpenGLリソース
		サポートする画像フォーマット
幅[画素]	1600	1600
高さ[画素]	1200	1200
デプス	8	8

画面右の下には、以下の各種データが表形式で表示されます:

- \*画像ファイル 名一覧
- \*画像の特性値
- \*画像の統計値
- \*プログラムがサポートする画像フォーマット一覧
- \*OpenGLリソース(ハードウェア情報)

表示する情報は、表の上で右クリックして現れるメニュー、または、メイン画面のメニュー、『データ』から選択できます。

## ■ その他の操作



シーケンスの選択。  
画像ファイル二つの代わりに、画像ファイルの入った二つの

画像リスト		
#	C:/My Album/Album2001	C:/My Album/Album2003
1	PA180017.JPG	20030101_144153_6.JPG

ディレクトリーを選択することもできます。この場合、二つのディレクトリー入っている画像ファイルが、ファイル名でソートされ、順に表示されます。

このとき、画面右下の画像リストには二つのディレクトリーにあるファイル一覧が示されており、表の上でダブル・クリックすることで、その画像のペアを表示することができます。

	C:\my\hbm\hbm2001	C:\my\hbm\hbm2003
1	PA180017.JPG	20030101_144153_6.JPG
2	PA180023.JPG	20030101_144340_7.JPG
3	PA190030.JPG	20030101_160203_8.JPG
4	PA190032.JPG	20030101_160233_9.JPG
5	PA190033.JPG	20030108_153559_10.JPG
6	PA190034.JPG	20030108_154058_11.JPG
7	PA190036.JPG	20030112_110430_12.JPG

➡ 『フレーム』メニューから、『次へ』、『前へ』か、ツールバーの矢印キーによって前後の画像ペアに移ることができます。

📁 ファイル・エクスプローラーから二つの画像ファイル、または二つのディレクトリーを選択し、**pixDiff**の画面にドラッグ・アンド・ドロップすることで、ファイル、または、シークエンスの表示を開始します。

## ■ 画面の操作

画像が表示されている状態で、メニュー、ツールバー、マウス、キーボードより、下記の操作を行うことができます。

🖱️ スクロール。画像上で、マウス右ボタンを押し下げながら移動、また、キーボードの数字『12346789』で表示範囲を移動。

🔍 拡大。画像上で、マウス・ホイールを回転させるか、『+』キーで表示範囲を拡大。

🔍 縮小。画像上で、マウス・ホイールを回転させるか、『-』キーで表示範囲を縮小。

🖼️ 『5』キーで画像全体を表示。

🔍 『0』、『Home』キーで実寸(1:1)表示。

🖼️ F11 キーで画像部分をフルスクリーン表示。もう一度、F11を押すと元に戻ります。

🔄 F4 キー。画像の比較モードを切り替え。

🔄 F3 キー。カラー表示モード(RGB→赤→緑→青チャンネル)を切り替え。

🔧 環境設定 画面を表示。

## ■ その他

画像フォーマット: pixDiffは画像の読み込みにImageMagickのライブラリMagick++を使用しています。200種類以上のフォーマットに対応しています。